

# 教育センター通信

ほ ど  
火床の火の心を紡ぐ

第11号(通算127号)

令和7年3月19日

三条市教育委員会

教育センター発行

小中一貫教育  
トップページ



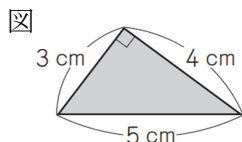
令和7年1月30日(木)：三条おおじま学園  
「中学校入学説明会での交流活動」

## 子どもの誤答に学ぶ

学校教育課 指導主事 藤井 佳介

過去に「全国学力・学習状況調査 算数」で、次のような問題が出題されました。

図の直角三角形の面積は何 $\text{cm}^2$ ですか。求める式と答えを書きましょう。



この問題の全国の正答率が55.4%であったと聞き、想像以上に低いことに驚きました。図の三角形には直角を表す印が示されており、3 cmか4 cmの一方の辺を底辺と見れば、他方を高さとして面積を求める公式が使えます。ではなぜ44.6%もの子どもが面積を

正しく求めることができなかったのでしょうか。結果ばかりに注目をせず、子どもたちの誤答を貴重な情報と捉え、その傾向から授業者として学び、授業改善に生かすことが大切だと考えます。この問題の誤答の例を2つ紹介します。

- ①  $3 \times 4 \times 5$ 、 $3 \times 4 \times 5 \div 2$       ②  $5 \times 4 \div 2$ 、 $5 \times 3 \div 2$

①は三角形の面積を求める公式について理解できておらず、示された全ての辺の長さに着目して立式しており、必要な情報を選び出すことができていないケース、②は水平な辺を底辺と見てしまい、三角形の底辺や高さを図から正しく見いだすことができていないケースと考えられます。「学習したはずなのに…」と私たちは思いがちですが、なぜこれらの定着が不十分だったか、自分の授業を省みることが授業改善の第一歩です。上記の誤答から、例えば算数の授業において「あえて不要な情報を加えて課題提示する」「図形の提示方法(図の向き等)を意図的に変える」などの手法を授業に取り入れる必要性を感じます。「なぜこの辺の長さを使う必要がないのか」「なぜこの向きだと底辺と高さを見つけにくいのか」などを子どもたちと一緒に考えていくことで、対話を通した解決が期待できます。

目まぐるしい速さで変化する時代に対応するため、教師は常に指導技術をアップデートする必要があります。また、主体的に学び続ける教師の姿は、子どもたちにとって、素晴らしいロールモデルにもなり得ます。子どもたちの誤答を材料にして学び続けることができる教師でありたいと感じています。

センター研修振り返り（武石）

| 令和6年度「教職員研修・講座」の振り返り            |  |     |      |       |             |
|---------------------------------|--|-----|------|-------|-------------|
| 研修・講座名                          |  | 講座数 | 受講者数 | 肯定的評価 | 備考          |
| Ⅰ 基礎研修                          |  |     |      |       |             |
| 【101】小中一貫教育基礎研修                 |  | 1   | 132  |       |             |
| Ⅱ 実践研修                          |  |     |      |       |             |
| 1 小中一貫教育を通して学力の向上を目指す研修         |  |     |      |       |             |
| 【201】授業スタンダード理解研修               |  | 1   | 107  | 100   | オンデマンドで各自研修 |
| 【202,203】算数・数学指導力向上研修(重点教科研修)   |  | 2   | 57   | 96.6  | 100         |
| 【204,205】外国語指導力向上研修(重点教科研修)     |  | 2   | 109  | 100   | 100         |
| 【206】教科指導研修(国語)                 |  | 1   | 29   | 100   |             |
| 【207】NRT分析研修                    |  | 1   | 23   | 100   |             |
| 【208】全国学力・学習状況調査分析研修            |  | 1   | 全28校 |       | 各校内研修として実施  |
| 【209】学力向上研修                     |  | 1   | 31   | 100   |             |
| 2 小中一貫教育を通して豊かな人間関係を育む研修        |  |     |      |       |             |
| 【401,402】生徒指導研修・適応指導事業説明会       |  | 2   | 62   | 100   | 100         |
| 【403】不登校児童生徒への対応力向上研修           |  | 1   | 28   | 100   |             |
| 【404】道徳科授業研修                    |  | 1   | 25   | 100   |             |
| 【405, 406】WEBQU研修・WEBQU特別研修     |  | 2   | 76   | 100   | 100         |
| 【407,408】学級づくり研修                |  | 2   | 56   | 100   | 100         |
| 【409】学級づくり研修                    |  | 1   | 29   | 100   |             |
| 3 小中一貫教育の視点を生かした各種教育研修          |  |     |      |       |             |
| 【501,503】ICT教育研修(ミライシード研修、事例研修) |  | 2   | 82   | 100   | 100         |
| 【502】ICT教育研修(プログラミング教育研修)       |  | 1   | 14   | 100   |             |
| 【504】環境教育研修                     |  | 1   | 8    | 100   |             |
| 【505】防災教育研修(講演、授業研修)            |  | 1   | 61   | 100   |             |
| 【506,507】特別な教育課程に基づく授業づくり研修     |  | 2   | 18   | 100   | 100         |
| 【508】インクルーシブ教育システム研修            |  | 1   | 9    | 100   |             |
| 【509】特別な配慮に基づく児童生徒の支援研修         |  | 1   | 9    | 100   |             |
| 【510】適級による指導研修                  |  | 1   | 14   | 92.8  |             |
| 【511】学習活動に困難のある子どものアセスメントと支援研修  |  | 1   | 12   | 100   |             |
| Ⅲ 充実発展研修                        |  |     |      |       |             |
| 【601】小中一貫教育マネジメント研修             |  | 1   | 27   | 95    |             |
| 【701,702】CSディレクター研修             |  | 2   | 55   | 100   | 100         |
| 【703】コミュニティ・スクール研修              |  | 1   | 26   | 100   |             |
| 全 体                             |  | 34  | 1099 | 99.7% | 29 / 32     |

今年度も、三条市教育センター研修に御参加いただきまして、ありがとうございました。

小中一貫教育研修の「基礎研修」「実践研修」「充実発展研修」については、延べ1099名の教職員の皆様から参加していただき、研修全体の肯定的評価は99.7%でした。

この他に、「授業力向上研修(Step1・2研修)」に46名、「三条学講座」に96名、「科学教育センター研修」に240名の皆様から参加していただきました

各研修後のアンケートで頂いた御意見を参考に、次年度の研修の更なる充実を図っていきます。併せて、次年度もオーダーメイド訪問の活用をお願いいたします。

オーダーメイド訪問回数 (3月14日現在)

|      | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 訪問回数 | 0  | 3  | 4  | 7  | 1  | 11 | 26  | 9   | 1   | 0  | 0  | 0  | 62 |

部活動地域移行 令和7年度の予定

12月21日にソフトテニスの地域クラブ活動がスタートし、令和6年度に予定していたスポーツ6種目の休日の地域クラブ活動をすべて開始しました。

令和7年度の予定は下の表のとおりです。今後も「三条市中学生の地域クラブ活動推進委員会」等で広く意見を求めながら部活動地域移行を進めてまいります。

|       | 部活動 |                    |                   | 地域クラブ活動                                                                                            |    | 大会参加     |
|-------|-----|--------------------|-------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----------|
|       | 平日  | 休日                 |                   | 休日                                                                                                 | 平日 |          |
|       |     | 地域クラブ活動を<br>実施しない日 | 地域クラブ活動を<br>実施する日 |                                                                                                    |    |          |
| 令和7年度 | あり  | あり                 | なし                | 活動を開始している6種目(柔道、軟式野球、陸上競技、バレーボール、剣道、ソフトテニス)に加え、バスケットボール、サッカー、卓球を開始する予定です。<br>現在、各競技団体等と実施に向け協議中です。 | なし | 部活動<br>※ |

令和7年度の文化系部活動の動き

| 吹奏楽部活動                                   |
|------------------------------------------|
| 三条市吹奏楽団から指導員を派遣し、基礎指導及びパート別に専門的な技術指導を行う。 |

※ 準備ができた段階で、地域クラブ活動で大会に出場する場合があります。

吹奏楽以外の文化系部活動の地域移行については、公民館等で行っている「わくわく文化未来塾」などを、令和7年度から地域クラブ活動として位置づけ、体験を含めた講座の紹介と内容の充実を図ってまいります。



# さんじょう学びのマルシェ

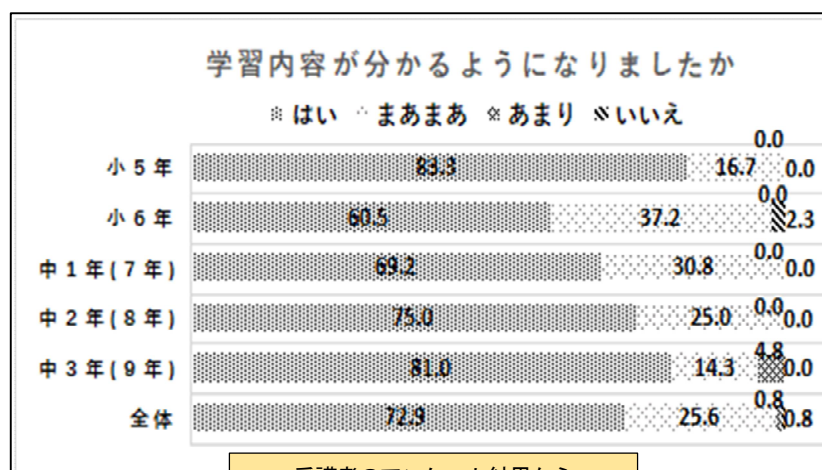
「さんじょう学びのマルシェ」は、今年で11年目を迎えました。今年度も、「もっと学びたい」と考える子どもたちが、土曜日の午前中に市内7つの会場で自主的に学習に取り組みました。

「さんじょう学びのマルシェ」では、「日頃の学習を個別に学び直す教室」、「発展的な内容の学習を行う教室」の2つを開設し、指導員が、受講者一人一人に寄り添いながら支援しています。

受講生や保護者の皆さんからは、「自分がどこが苦手で、なぜ苦手なのかがよく分かったのでよかったです。(小5)」 「分からなかった問題をできるようになったり、家庭学習を積極的に取り組むことができたりしてよかったです。(小6)」 「自分の分からない問題を後回しにすることなく学習できるようになり、これからの学習につなげていくことができるいい体験になりました(中3)」 「算数のテストの点が上がり、本人も分からなかったところが理解できるようになり、算数に対する苦手意識がなくなったそうです。親としてもとてもありがたいです。(小5保護者)」 「基本的に自分で解くスタイルで、分からないことは解説してもらえるというのが、すごく充実した学習でした。(小6保護者)」 「休日の生活リズムと学習時間の確保ができるので感謝しています。(中3保護者)」等の喜びの声が多く聞かれました。

受講者を対象に実施したアンケートで「以前よりも学習内容が分かるようになりましたか。」という項目(右図)では、肯定的評価が全体で98.5%と大変高い数値となっており、受講者の充実度がうかがえます。

今後も、受講生一人一人が学習に対して意欲と自信をもち、「勉強は楽しい」「できた、分かった」という姿が増えるように指導を進めてまいります。



自学自習で問題集に取り組みます



分からないときは指導員から教えてもらえます

## 令和6年度授業力向上実践研修 Step 1・2を振り返って

Step 1（教職経験年数2年目から5年目の教員対象）に33人、Step 2（7年目から10年目）に13人と、昨年度を上回る計46人が受講し、1年間という長期に渡る研修に取り組みました。

受講者は、5月のガイダンス（紙面研修）を皮切りに、3回のオンライン学習会、研究授業公開と事後検討会、約4か月間に渡る実践記録執筆・教育研究論文に取り組みました。また、市教研や学園研、オーダーメイド訪問等を活用し多くの参観者から授業を参観してもらったり、担当指導主事と何度も事前検討を重ねたりした受講者もいました。さらに、同じグループの仲間の授業を参観し、研修を深めた受講者もいました。一人一人の取組方法は異なりますが、「子どもの力を伸ばしたい」「自己の授業力を高めたい」という受講者の願いや努力が表れた研修となりました。

研修の成果である実践記録執筆・教育研究論文は、間もなく校務用全校共有フォルダに格納されます。是非御覧ください。

2月に行った受講者アンケートの一部を御紹介します。



【担当指導主事との個別相談会】

### 【受講者のコメント（一部抜粋）】



指導してくださった指導主事が研究授業を直接参観に来てくださって、授業後に御指導してくださったことがとても励みになった。広い見識と視野で、分析、アドバイス、御指導してくださったので、客観的に振り返りと授業改善が検討でき、とても有意義だった。授業に至るプロセスや指導案への助言を的確に御指導いただいたので、とても良い経験になった。（Step 1）

論文をまとめることを念頭に授業を構想したところ、単元のつながりや、前時と本時のつながりをより意識することにつながりました。単元内の流れ、一学年の学習の流れ、6年間を通した教科の流れなど、複数の視点をもって教材研究、授業検討をする必要があることを、改めて感じました。（Step 2）



今回の研修では、新たに子どもたちの良さを引き出すことができました。自分自身も授業をしてとてもワクワクしました。そんな授業を今後もできるように、努力していきたいです。（Step 1）

日々の業務を進めながらの研修は、御苦労も多かったと思います。しかし、受講者自身の努力と、支えてくださった各学校の皆様のおかげで、充実した研修にすることができました。本研修に携わってくださった全ての皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

来年度も「授業力向上実践研修 Step 1・2」を実施します。対象教員の皆様からの積極的な受講申込みをお願いします。

**R7 Step 研修が  
大きく変わります！**

教職員の指導力向上と日々の授業改善を一層図るため、これまでのマンツーマン指導のよさを生かしながら、一層「寄り添い型」の研修となるよう進めていきます。

詳しくは、研修案内や受講者用リーフレット等で御確認ください。